

ガーナーホテル大阪本町駅

大阪市中央区

設計・監理／イリア
施工／イリア



ソーシャルハブ
クラブ&ゴー形式で24時間利用可能なエリア。右手にビュッフェカウンターやお菓子などを販売するマーケットプレイスがある。ひとりでも大人数でも、多様な使い方が可能。高さ違いの背をもつソファやカラフルな色使いがひと
きわにぎやかな雰囲気をつくり出す



ロビー・レセプション エントランスから入ってすぐ、床のパターンや吹き出し型の照明の連続感に引き込まれ、大阪の賑わいに包まれるような空間。既存壁をシャッターに変更し、奥まで見通せるようにしたことで、フロアの一体感を高めた。正面の壁には幅4.8m×H1.35mの大型LEDビジョンで動画コンテンツが流れる。レセプションカウンターの腰はネオン街をイメージしたインフィニティミラーを組み込んだ

設計主旨

IHGホテルズ&リゾーツが展開するミッドスケールブランドとして日本に初上陸したGarnerホテル。「Garner=集まる」という意味で、「ひとりひとりがジブンらしくいられる場所」をコンセプトとし、ゲストのみならずスタッフも含めて多様な個性を尊重し、様々な「らしさ」が集う場所をつくることを目指している。

今回は大阪・本町に「ガーナーホテル大阪本町駅」「ガーナーホテル大阪本町御堂筋」「ガーナーホテル大阪本町北船場」の3棟を同時改修するプロジェクトとして計画された。本町は観光地として人気のなんばや大阪の中心を担う梅田の間に位置し、ビジネス街の淀屋橋からも徒歩でアクセスでき、観光とビジネスの両面で利便性の高い場所にある。今回3棟を同時改修するにあたり、同じ本町エリアに位置することから、共通のコンセプトでつなぎつつ、デザインとしてはそれぞれ違うテーマを持たせることでそれぞれのホテルに個性（らしさ）を持たせた。古くから商業

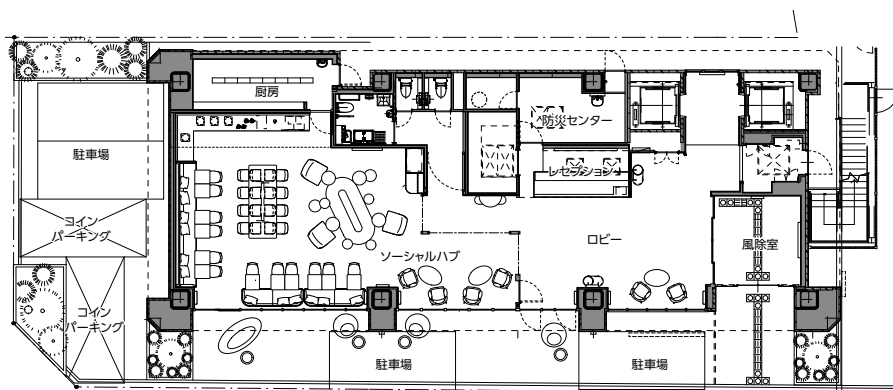
の町として栄え、人々のエネルギッシュな活気が満ちる大阪。その根底にある人々の賑わいやエネルギーを「大阪の鼓動」としてとらえ、各棟に「過去（御堂筋）」「現在（本町駅）」「未来（北船場）」の異なる時代をデザインテーマとした。

「現在」をテーマとする本町駅は、ポップでカラフルな色遣いの家具や繁華街に輝くネオンをイメージした照明が“今”の大阪のはじけるような賑わいを表現。床やテーブルの

天板には遊び心を思い起こさせるようなボードゲームから着想を得たパターンを配し、わくわく感を演出。客室は大阪の名所をオリジナルのグラフィックで愉快地に描き、部屋ごとに異なる風景に出会えるしかけをちりばめている。

多様な人々が集い、自分と異なる「らしさ」に出会う。滞在のなかで新たな価値観を発見し、さらなる賑わいを生み出す拠点になることを願う。

(イリア)



1階平面図 縮尺1/300





上／サイン以外は既存利用。内部の賑わいの雰囲気外部にも現れる 左下／基準階EVホール 賑わいをイメージしたカラフルなカーペット。ポップなアートはフロアごとに異なる 右下／客室スタンダードツイン 大阪城、御堂筋、道頓堀をテーマにしたオリジナルのグラフィックを作成。どの柄になるかは部屋ごとに異なる。大阪の街の今昔のアイコンをミックスし、今も昔も変わらない大阪の賑わいを表現している

施工計画

3棟の同時改修にあたり、工期内で納めることだけでなく、同品質で納めることも重要課題としてあった。3棟合わせて全518室となる客室フロアの施工にあたっては、物量が多く、同じ協力業者とすることは作業員確保の面からも困難であったため、計画時に作業手順・施工要領を各社と密に摺合せを行うことにより、管理社員および作業

員がどの棟でも同じ認識を持つようにした。

「ガーナーホテル大阪本町駅」の天井とレセプションカウンターで使用したメインアイテムのひとつのインフィニティミラーは、映り込みはもちろんのこと、設置用途ごとに安全面・メンテナンス面を考慮して、何種類ものサンプルを製作し、設計者と幾度も協議を重ねた結果、満足いただけるものを納めることができた。

厳しい工期ではあったが、関係者一丸となったことにより、無事に竣工を迎えることができたことを嬉しく思う。そして宿泊客からホテルスタッフの方々にとって、魅力あるホテルとして活用され、「さらなる賑わいを生み出す拠点」となることを願っている。

(イリア)

ガーナーホテル大阪本町駅 データ

所在地 大阪市中央区北久宝寺町4-4-10

主要用途 宿泊施設

建築主 特定目的会社7C

設計・監理 イリア

担当／総括：東 大基

内装：今井慎二、並河 薫、堀部真子

設備：百澤卓也、開渡勇太、邱天

FFE：藤田星子、角谷美晴

施工 イリア

担当／山田 健（所長）、井刈政博、上山勢司、牧 茂明、

佐藤春佳、洲上稔浩、木村晴菜、立花はるか、上西舞奈、

立田大喜、小堀裕輝

設計期間 2023年12月～2024年10月

工事期間 2024年5月～2024年12月

開業 2025年1月16日

【建築概要】

敷地面積 719.00㎡

建築面積 325.36㎡

延床面積 3,675.87㎡

建ぺい率 54.16%（許容80%）

容積率 584.88%（許容600%）

構造規模 S造 地上15階

最高高さ 44.19m

軒高 43.59m

階高 1階：3.6m 基準階：2.9m、2.8m

天井高さ エントランス：2.5m ロビー：2.5m

ソーシャルハブ：2.5m 客室：2.4m

主なスパン 8.4m×10.95m

駐車台数 9台（荷捌きスペース2台換算含む）

地域地区 商業地域

客室数 180室

スタンダードダブル（11.97㎡）×53室、スタンダードクイーン（14.56㎡）×14室、スタンダードツイン（14.56㎡）×112室、アクセシブル（16.33㎡）×1室

【主な内部仕上げ】

1階ロビー・レセプション・ソーシャルハブ 床／塩ビタイル特注パターン貼、一部既存利用 壁／特殊塗装、一部

既存利用 天井／ビニルクロス貼

客室 床／ロールカーペット貼 壁／ビニルクロス貼、一部特注グラフィック柄ビニルクロス貼 天井／既存利用

撮影／ナカサアンドパートナーズ

協力会社

鋼製建具・鋼製シャッター工事	三和シャッター工業
鋼製建具工事	文化シャッター
造作家具工事	大村工業
家具	インターオフィス
家	具
特注家具	河
ベ	敦
ッ	ル
ド	ア
ファブリック	日本ベッド製造
サイン工事	パシフィックハウステクスタイル
映像機器設置工事	オール工房
	シーマ